

令和元年度在宅療養連携会議 第3回全体会議 会議録

- 1 開催日時 令和元年（2019年）10月29日（火）19時00分～20時00分
- 2 開催場所 ウェルシティ市民プラザ3階 保健所第1研修室
- 3 出席者 【構成員】千場 純、磯崎 哲男、西山 和彦、塚本 久美、岩澤 孝昌、
川田 啓子、富岡 敏也、松尾 透江、大澤 愛子、諏訪部 弘之、
亀田 浩司、澤藤 加与子、高田 千春、佐野 美智子、高橋 伸宏、
山本 恵子、神崎 由美子、橋本 健司、小貫 朗子、田中 知己、
渡邊 久美子（敬称略、名簿順）
【オブザーバー】ハートケア湘南芦名 山中 香
横須賀共済病院 金井 枝美
横須賀市健康福祉財団 小澤 充
福祉部介護保険課 鈴木 享（敬称略）
【事務局】健康部地域医療推進課 竹本 豊、小知和 千弘、白石 貴宏
【傍聴者】1名
- 4 開 会 座長の司会で開会した。
- 5 オブザーバーの紹介、傍聴者・配布資料の確認
事務局から、欠席者の報告、オブザーバーの紹介、傍聴人数の報告、および配布資料の確認を行った。

〔資料一覧〕

次第

- 資料 1 地域包括ケアフォーラムチラシ
- 資料 2 横須賀版リビング・ウィルの増刷について
- 資料 3 よこすかエチケット集の改訂について（新旧対照表）
- 資料 4－1 令和元年度ケアマネジャーのための在宅療養セミナー企画書
- 4－2 令和元年度介護職のための在宅療養セミナー開催実績
- 4－3 令和元年ケアマネジャーのための在宅療養セミナー第1回トピック講座
アンケート集計結果
- 資料 5 令和元年度多職種連携セミナー（成年後見制度）企画書（案）
- 資料 6 令和元年度在宅医療・介護連携推進事業進捗状況
- 資料 7 まちづくり出前トーク実績一覧
- 資料 8 令和元年度センター連携拠点事業推進状況
- 資料 9 令和元年度ブロック連携拠点事業実績
- 資料 10 平成23～令和2年度在宅医療・介護連携推進事業一覧

6 議 題

(1) 各専門部会からの報告

① 広報啓発検討専門部会（Aチーム）

地域包括ケアフォーラムについて、千場部会長から、資料1「地域包括ケアフォーラム（チラシ）」に基づいて報告された。

横須賀版リビング・ウィルの増刷について、資料2「横須賀版リビング・ウィルの増刷について」に基づいて報告された。

〔説明要旨〕

i. 地域包括ケアフォーラム

すでにチラシが配布されている。引き続き、皆さんからも周知をお願いしたい。

千場医師と野村医師が対談をする医師会市民公開講座のみ、11/7（木）が申込期日となっている。申込期日を過ぎても、申込みがあった場合、事務局に直接連絡をしていただければ対応されるので、今後も積極的に広報をお願いしたい。

ii. 横須賀版リビング・ウィル

リビング・ウィルの増刷、周知方法の改訂についてAチームで検討するが、それについて事務局から説明をお願いする。

〔事務局〕

資料2をご覧ください。横須賀版リビング・ウィルは、平成28～29年度に在宅療養連携会議で検討を行い、平成30年1月に完成した。平成29年度の在宅療養シンポジウムでの配布が初めての配布になる。

人生の最終段階について、元気なうちから考えるきっかけとするための、書き込み式の啓発冊子となっている。まちづくり出前トークのほか、市内診療所、民生委員、行政センター等に協力いただき、書き方や内容等を説明したうえで、手渡しで配布している。当初5000部印刷し、今年度中に在庫が無くなる見込みである。事務局では、増刷にあたり、修正意見をいただいたうえで増刷したいと考えている。「7 協議事項」として2点あげた。現在は、行政センター等での配架や市ホームページでのダウンロードは行っていない。ホームページでは、リビング・ウィルの表紙のみを載せ、概要をお知らせしている。ホームページからダウンロード可能な自治体も増えてきている。配布方法や内容について、協議いただきたい。

② 連携手法検討部会（Bチーム）

磯崎部会長から、資料3「よこすかエチケット集の改訂について」に基づいて報告された。

〔説明要旨〕

6月20日の多職種合同研修会で出された意見を基に、改訂作業を行っている。

資料3に、新しいエチケット集の新旧対照表（案）を掲載している。資料3の5ページに「削除」の項目があるが、これは現在では当たり前に行っていることであるため、シンプルにするためにも削除とした。

③ 研修・セミナー検討専門部会（Ｃチーム）

諏訪部部会長から、資料４－１「令和元年度ケアマネジャーのための在宅療養セミナー企画書」、資料４－２「令和元年度介護職のための在宅療養セミナー開催実績」、資料５「令和元年度 かかりつけ医セミナー（成年後見制度）企画書（案）」に基づいて報告された。

〔説明要旨〕

i. 資料４－１ ケアマネジャーのための在宅療養セミナートピック講座について

第１回トピック講座を８月２３日（金）、障害福祉サービスについて実施した。講師は、市障害福祉課の深井様及び横須賀市健康福祉財団の平田様にお願いし、７５人の参加があった。

第２回トピック講座は、１１月１８日（月）に医療制度について実施予定である。講師は、横須賀市立うわまち病院の総合患者支援センター看護師長、神崎様にお願いしている。

第３回トピック講座は、１月２８日（火）にターミナル期の支援について実施予定である。講師は、横須賀共済病院の看護管理科の河野様にお願いし、現在企画を進めているところである。

ii. 資料４－２ 介護職のための在宅療養セミナーについて

第１回は、９月１８日（水）にいざというときのための応急手当について実施した。

第２回は、１２月１２日（木）に利用者に寄り添える環境を守るために、利用者からの暴力に対する「包括的暴力防止プログラム（CVPPP）」の紹介ということで、講師を久里浜医療センターの看護師、本間様に依頼している。

第３回は、現在検討中だが、ターミナル期の支援について実施する予定である。

iii. 資料５ かかりつけ医セミナー（多職種連携セミナー）について

本セミナーの目的は在宅医療・介護の多職種の連携のため実施するものである。今年度は、認知症セミナーと成年後見制度の２本が企画されている。成年後見制度については、在宅療養連携会議の構成員でもある橋本先生に講師をお願いしている。

（２）令和元年度在宅医療・介護連携推進事業進捗状況（資料６）

専門部会が関わっている事業以外の事業進捗について、資料６に基づき、事務局から各種事業実施状況の説明を行った。

〔説明要旨〕

① 病院職員対象在宅療養出前セミナー

現時点での実施はない。市立うわまち病院から来年２月実施の申込みをいただいている。

② 在宅医同行研修

医師会の１２名の先生にご協力いただいている。現時点で１１件１２名の申込みがあり、すでに６件６名の方が研修を実施した。申込者１２名の内訳は、薬剤師７名、管理栄養士５名となっている。

昨年度と違い、現時点で医師や看護師の参加はない。病院関係者で興味がある方は、地域医療推進課へ連絡をいただきたい。

③ まちづくり出前トーク

市の職員が申込者のもとへ伺って話をする「出前トーク」については、10月までに4団体で実施し、72名の参加があった。加えて今後、3件を予定している。資料7が平成24年度から今までの年度別の実績となっている。

④ 令和元年度在宅療養センター連携拠点事業進捗状況（資料8）

1の令和元年6月20日（木）の多職種合同研修会は、171名の参加をいただいた。

2の在宅医療・介護情報共有システム（かもめネット）運用状況と、3の在宅患者入院支援登録システム運用状況については、資料のとおりである。

4の街角在宅医療講座は、医師会の医師が講師となり、町内会等に伺ってお話するものである。10月までに3回実施し、97名の参加があった。今後は、2件の申込みがあり、実施予定となっている。

5の在宅医療・介護連携ノート「よこすかりンクパスポート」は、500部増刷している。

6の病院長会議は、11月25日（月）に開催予定である。

7の市民公開講座は、11月16日（土）に地域包括ケアフォーラムで、14時から県立保健福祉大学の講堂で実施予定である。野村先生、千場先生を講師として、赤ひげ先生に聞く今どきの在宅医療をテーマに講演を行う。なお、地域包括ケアフォーラムは申し込み不要の自由参加だが、この講演のみ事前申込制となっており、横須賀市のコールセンターか医師会での申込みが必要となっている。

⑤ 令和元年度在宅療養ブロック連携拠点事業進捗状況（資料9）

在宅療養ブロック連携拠点事業進捗状況については、資料9に令和元年度の各ブロック拠点の活動についてまとめている。

⑥ その他（資料6）

i. 医師のための在宅医療セミナーは、令和2年1月21日（火）19時30分開始。場所は、生涯学習センター第1学習室を予定している。神奈川県警察本部刑事部捜査第一課の検視官、内川警視に講師を依頼し、検視をテーマにお願いしている。内容は調整中である。

ii. 多職種連携セミナーは、Cチームからの報告にもあったとおり、成年後見制度に関するセミナーを企画している。在宅療養において司法書士ができること・できないことなどについて、2月開催で、橋本先生に講師をお引き受けいただいた。これから日程調整をする。

iii. 多職種連携のための認知症セミナーは、令和2年3月5日（木）19時から、生涯学習センター大学学習室で実施予定である。講師等は未定で、企画については福祉部高齢福祉課と詰めていく。

これらのセミナーについては、詳細が決まり次第、報告する。

〔質問、意見等〕

座 長：資料6の病院職員対象の在宅療養出前セミナーについて、今年度は市立うわまち病院の1件しか申込みがないが、何か要因が考えられるか。できれば、各病院の年中行事になれば良いと考えているが、病院も多忙で難しいようだ。

事務局：市立うわまち病院は、毎年度当初に申込みいただいている。申込みが少ない要因は不明だが、セミナーの構成を再検討すべきかと考えている。本セミナーでは、横須賀市から市の現状等の話をしているが、病院職員はすでに知っている内容になっている可能性がある。病院側から在宅医の先生に聞きたいこと等の意見・要望をいただけると、より良いセミナーになると考えている。

座 長：私も今の構成を再検討すべき時期かと思っている。市の現状等をわかった上で、更に進んで何かできると良いのではないか。病院の先生の意見を伺いながら、来年度の企画に向けて内容を詰めていただきたい。

磯 崎：資料6の今後の予定の企画中のものについて、医師のための在宅医療セミナーのみ、時間が19時30分から21時30分までとなっているが、これは何か理由があるか。

事務局：医師のための在宅医療セミナーは、主に医療職を対象としているため、企画当初より、参加しやすい時間帯として19時30分開始としている。逆に、先生方は19時からで参加できるものなのか。

磯 崎：19時30分の方が良い。

座 長：開催時間について何かご意見・ご要望はあるか。

事務局：参考に、中央ブロックでは、ブロック会議を18時30分開始としている。19時30分開始だと多職種が参加しにくくなってしまうため、参加する職種に応じて、開始時間を変更する試みをしている。

塚 本：リンクパスポートの効果の報告について、例えば救急隊から、リンクパスポートがあつて助かった等の意見や、逆に、多職種からの苦情などは寄せられたことがあるか。

磯 崎：個人的な実感としては、まだ認知されていない。先日、街角出前講座で元気な高齢者の方を対象にリンクパスポートの話をしたが、知られていなかった。救急隊など、特殊な職種の方には知られていると思うが、塚本先生の質問に対してはまだ情報がない。

事務局：市としては、医師会から、リンクパスポートの印刷数の報告は受けているが、配布数までは追えていない。

渡 邊：効果としては見えてこないが、救急隊では、在宅医等がわからないケースが少ないため、リンクパスポートを活用しなくて済んでいるようである。従って、現状としてはリンクパスポートの効果が評価しにくいという認識であるが、これは連携がとれている結果とも言えるのではないかと考えている。在宅医等がわからないケースで、リンクパスポートがあれば適切に在宅医等に繋げることができるため、今後とも周知を続けていく。

塚 本：増刷するからには効果の評価が必要と考える。患者本人が、実はリンクパスポートを持っているのに、持っていないと思い込んでいたり、医師によって全員に渡す場合と、渡す患者を選んでいる場合があったりする。多職種がリンクパスポートを持っているかどうかの確認さえしていないという実感である。効果の評価は感覚ではなく、もう少しリンクパスポートの利用方法を深めて徹底していくと、より良いものになると思う。

渡 邊：事業には費用もかかっているため、医師会にも評価の仕方を検討するよう調整していくなど、評価についても検討しながら取り組みを継続していく。

磯 崎：情報提供しておく、リンクパスポートにフレッシュな情報を入れたいと思い、訪問診療

に行った際、医師のカルテのコピーを入れていた。情報を開示しすぎたという意見もあったが、それを見た家族から診断について質問が出た事例があった。緊急時だけでなく、情報共有のツールとしても使用できた事例であった。

座 長：リンクパスポートの作成当初は、外来の患者が複数の医療機関に罹ったときに持ち歩き、情報共有できるツールだった。現在では緊急時の情報共有という使い方をしているが、各医師の患者に配る、配らない基準がばらばらである。インターネットが使用できれば、かもめネットも利用できるが、今後、多職種に必ず確認させるツールにしていくならば、とにかく広く配布することが必要である。普及のために在宅医療委員会でも検討したい。

(3) 令和2年度事業予定について

事務局から、資料10に基づき、事業予定について説明された。

〔質問、意見等〕

座 長：どこかで見直しや大きな変更が出てくると思う。横須賀市の各年度の計画について、見直しがあるか。

事務局：市の基本計画や実施計画もあり、高齢者保険福祉計画も見直しをしていくところである。

(4) 第4回全体会議の日程について

構成員内で日程調整を行い、令和2年3月9日（月）19：00からの開催が決定した。

座長から、令和2年度に向けて、各構成員が課題や提案したいこと等を所属団体に検討し、次回全体会議の際に話し合うことが提案された。

(5) その他

〔質問、意見等〕

座 長：横須賀市在宅医療・介護連携推進事業カレンダーについて、どのように活用されているのか。

事務局：各団体の会議、研修会等の日程が重ならないよう、日程調整用に情報提供をしている。各団体から情報提供いただきながら、毎月1日、15日付で更新をしている。

7 閉 会

座長の宣言で閉会した。この後、専門部会に分かれて会議を行った。

以上